

## 全国共済水産業協同組合連合会

代表理事会長 福原 正純

### おかげさまで70周年

新年あけましておめでとうございます。

年頭にあたり、浜の皆様にご挨拶と新春のお慶びを申し上げます。

平素よりJF共済に格別のご高配を賜わり、心から厚く御礼申し上げます。

はじめに、台風等の災害および新型コロナウイルス感染症等により被害に遭われた全国各地の漁業関係者ならびに地域住民の皆様に対し、衷心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈りいたします。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染拡大という予期せぬ甚大な災いが世界中で猛威を振るい、急速に冷え込んだ需要や魚価の低下に加え、頻発する自然災害、人口の減少や高齢化に伴う漁業従事者の減少、地球温暖化をはじめ海洋環境の変化などによる不漁、不安定な国際情勢など、JF共済にとってはますます厳しい状況が続いております。

また、昨年12月1日には改正漁業法と改正水協法が施行され、漁業は大きな変革期を迎えました。JF共済もこの動きに対応し、果たすべき役割を全うしてまいります。

JF共済は今年1月、創立70周年を迎えます。

思い起こせば、漁業者からの一通の手紙をきっかけにスタートしたJF共済は、浜の皆様や各地域のJFのご協力によって、将来想定されている大規模自然災害にも万全を期す組織にいたしました。これからも、「組合員に万全な保障を提供し、付加掛金収入で漁協経営を守り、それにより食料産業である漁業を守る。」といったJF共済の理念を胸に刻み、一歩ずつ前進してまいり所存です。

2020年度からは「浜の安心を未来へ～ひろげよう共済の輪～JF共済3か年計画」を開始し、JF共済をより安心して利用いただくため、全漁家を訪問し、保障点検をしながら生涯生活保障設計を提案する「浜のあんしんサポート運動」を展開し、JF共済の輪の拡大を目指し、取り組んでまいりました。2021年度は70周年を機に、浜の皆様のニーズにより応えていくため、これまでJF共済で保障できていなかった介護分野を中心に、新しい共済の開発を進めております。こうした取り組みを通じ、最優先課題である事業量目標の達成に向け、各都道府県のJF共済推進本部を中心に、取り組んでまいります。

また、15年ほど前に打ち出した共水連マネジメント改革実施大綱を見直し、JF事務負担の軽減と利用者サービスの向上を目指す業務改革と、共水連内部のガバナンス強化を目指す組織管理改革の2本建てで進めていくこととし、着実に実行してまいります。



浜の一年が明るく賑わいますよう祈念しますとともに、J F 共済に引き続きご指導・ご協力を賜  
わりますようお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。